

今、始めよう

あだち防災



2. 家族で防災会議をしよう

災害発生時、家族皆が揃っているとは限りません。家族の安否を確認し、無事に会えるためには、日頃からよく話し合っておく必要があります。

避難場所・集合場所

災害時の避難場所をあらかじめ決めておきましょう。

避難場所までを昼と夜の2回家族と歩き、危険個所の有無などを一緒に確認しておきましょう。避難経路が火災などで安全に通れない場合に備え、複数の避難ルートを確認しておくことが大切です。

連絡先・連絡方法

災害用伝言ダイヤル・伝言板・SNSなど、安否確認するための方法を決めておきましょう。

災害時、被災エリア内の電話はつながりにくくなります。しかし、被災地から離れた場所ではつながる場合があります。遠方の親戚や友人などの連絡先を控えておき、家族同士で連絡がつながらなかった場合の中継役として、お互いに把握しておくとよいでしょう（三角連絡法）。

3. 安否確認と情報収集

■ 災害用伝言ダイヤル 「110（けい）」
被災者が安否メッセージを登録し、他の人がそれを聞く「声の伝言板」

■ 足立区防災・防犯 <http://www.city.adachi.tokyo.jp/bosai/>

■ 東京都防災ホームページ <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>

■ 東京消防庁ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>

今から知つておこう。
と分かっている地震。
落ち着いて
身を守るすべを

遠くない未来に
必ず起ころる
あなたはその準備、
大丈夫ですか？

「首都直下地震」
30年以内に
70%の確立で
発生する
と予測されている



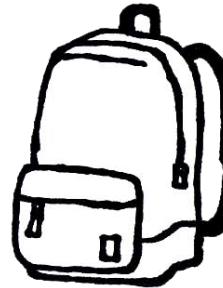
水



軍手



ヘルメット

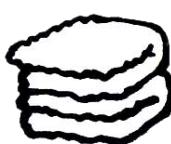


1. 非常用持ち出し袋

必要最低限の品を納めた避難用持ち出し袋を用意しましょう。玄関の近くや寝室、車の中などに置いておき、家が倒壊しても持ち出すことができるようにしておきます。自分にとって必要な物を考え、備えることが大切です。



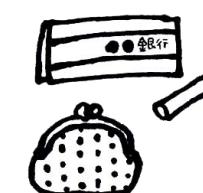
食品
(インスタント・缶詰)



毛布



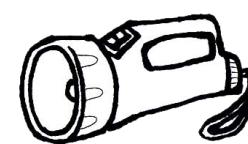
衣類



現金 賢金通帳 印鑑



携帯ラジオ



懐中電灯



救急セット



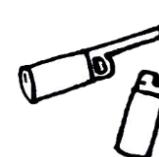
ポリ袋



ナイフ



ロウソク



ライター



電池